



# 第2回校内授業研究会



研究主題

平成24年6月18日(月)

学び合いを通して、自他のよさに気づき、豊かな生活を創り出す子ども

■ 5校時(13:50~14:35)6年2組教室

6年2組 宮坂 恵子 教諭

学級活動 「自分のなりたいリーダーをめざして」

■ 15:00~16:30 <事後研究会> 視聴覚室

司会:竹田 記録:石川

1. 開会のあいさつ
2. 校長あいさつ
3. 講師の先生のごあいさつ
4. 話し合い・助言
5. 全体指導
6. お礼の言葉
7. 授業者より一言
8. 閉会のあいさつ

講師 : 山形大学 野口 徹 先生

天童市教育委員会 石澤 明子 先生

 天童市立長岡小学校

## 第6学年2組 学級活動指導案

平成24年6月18日(月)5校時

男子15名 女子10名 計25名

指導者 宮坂 恵子

### 1 題材名 「自分のなりたいリーダーをめざして」

#### 2 題材について

##### (1) 本学級の児童

最高学年へのステップとして、5年生の時には、「6年生を送る会」で「自分たちの思いを6年生に届けるために」自分たちで企画運営することで、相手意識をもって活動することのやりがいや喜びを経験することができた。また、「あおぞら学年熟議」では、「よりよい長岡小をつくろう」ということから、委員会活動を中心にふり返りをして、6年生になってからの取り組みなどについて学年全体で話し合ってきた。自分たちの思いや願いを実現しようと意欲的に取り組んできた。

6年生になり児童会やクラブ活動、学校行事などにおいて中心的な役割を担うようになり、最高学年としてリーダーシップを発揮しようとするなどの意識や態度も育ち、役割や責任を自覚して活動するようになってきている。しかし、個人差は大きく、意識の低い児童も多い。「1年生を迎える会」では、実行委員を中心に飾りつけ・プレゼント作りなど意欲的に取り組んだ。一方、あまり意欲的でなかった児童の中にも、ペアになった1年生を目の前にしてゲームをしたりやプレゼントをわたしたりしてすることを通して、6年生になったことを自覚したり、1年生が喜んでくれたことをうれしく思う気持ちをもったりする児童もいた。

5月18日からスタートしたたてわり班活動では、委員会やクラブ活動でリーダーにならなかった児童も、班長や副班長になり、1～5年生の児童をまとめ活動することになった。K男は、優しいところがあるが被害妄想的ところやキレやすいところがあり、自分の言うことを下学年の児童が聞いてくれないことに腹を立てていた。A子は、班長になったものの、みんなをまとめるような声かけができない。K子とY子は、注意しても掃除をしてくれない4年生や5年生に悩んでいた。N子は、自分勝手な言動をする児童を何とかしようと奮闘中である。しかし、このような悩みは、あまり表に出ることはなく個人の中で積もり積もる事が多い。

このように、たてわり班活動のリーダーとなった子どもたちは、多様な他者を認めることの大切さや友だちとの折り合いのつけ方などを体験を通して実感してくのだろうと考える。こうした本学級の実態を踏まえつつ、現在及び自己の生き方を取り上げたり、男女が協力するなど、信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活が送れようにしたりして、社会的な自立を高める中学校への指導につなぐことができるような活動をめざしているところである。

##### (2) 課題設定の理由

今回の議題は、学級活動の内容「共通項目(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全」と関連し、たてわり班という異年齢集団における望ましい人間関係の形成やリーダーとして「なりたい自分」をめざし、希望や目標を持って生きる態度の育成をねらうものである。これまでは、教師が主として指導してきたところではあるが、今回は子どもたちの生活をふり返らせ、話し合い活動を通しながら、リーダーとして必要な力について気づかせ

ていくことに価値あることととらえた。

最高学年ということで「学校の機関車」とか「リーダー」「引っ張っていく立場」「お手本になる」などの言葉をかけられるようになった。そのことを自分のめあてとしている児童も多い。しかし、リーダーとしての具体的なイメージをもっている児童は少なく、子どもたちの中でも漠然としているというのも確かだろう。そこで、たてわり班活動についてのアンケートの結果をもとに、話し合いを通して楽しいこと・困っていることを浮き彫りにしながら、これから自分がどんなリーダーになりたいのかを自己決定し、それに向かって努力できるようにしていきたい。

### 3 指導の構想

本校研究テーマ「学び合いを通して、自他のよさに気づき、豊かな生活を創り出す子ども」に関わって、以下の三つの視点から指導・支援する。

#### (1) 視点1〈心の耕し〉

本議題に関わるであろう問題意識の掘り起こしとして、主な教科・道徳との関連性を次のように図ってきた。

- ・国語 「リレースピーチをしよう」・・・メモのとり方、発表の仕方、話の聞き方  
「学校パンフレットを作ろう」・・・相手意識をもって伝えたいことをまとめること
- ・道徳 「消えた紙くず」・・・愛校心の醸成  
「花色の風がふく学校」・・・役割と責任の自覚への気づき

また、5月の学級活動として「学級目標を決めよう」の話し合いをした。最高学年になり、クラスの友だちだけではなく、学校みんなに信頼される最高学年になろうという意欲を感じることができた。また、卒業をゴールに日々のくらしをみんなで創り、思い出のページを綴っていこうという気持ちが高まってきているととらえている。下学年の子どもとかかわることで自己有用感をもち、自分たちの楽しみや喜びのためだけでなく、他(=相手意識)の幸せも考えるという気持ちも高まってきている。

#### (2) 視点2〈相手意識や目的意識を大切にしたい話し合い活動〉

話し合い活動の際には、困っていることや悩んでいる人に寄り添い、自分事として考えられるようにしていきたい。学級のみならず学校全体にまで目を向け、自分の言葉で建設的な意見が述べ合えるようにし、多様な意見のよさを生かして、楽しい学級や学校の生活をつくるための自己決定ができるようにしていく。

司会団での指導では、予め話し合いの流れを教師と確認しつつ、本時のねらいである「よりよい自己決定」ができるように、司会団と打ち合わせをしておく。具体的には、自分たちのこれまでの生活をふり返っての理由に基づいた発表から「なりたいリーダー」像を浮き彫りにしていきたい。また、教師側では「待つ姿勢」や「任せる姿勢」を大事にしておく。

#### (3) 視点3〈よりよい自分・集団への高まり〉

ふり返りカードを準備し、話し合いのめあてに沿った内容でふり返らせる。その際、友だちの発言に心から共感するなどのよかった点や他の意見をもとに考えが変容した点などに価値をおきたい。また、最後の教師からの話では、本時のねらいの最重要点(よりよい自己決定)に関連した良さを可視化して、提示していくこととする。

4 活動計画

	日 時	児童の活動内容	活動の場
事前	6月1日(金)	【アンケート】 ・たてわり班活動での困っていることや悩みについての表出	学活の時間
	6月11日(月)	【議題の確認】 ・教室背面黒板に掲示された表を見て、議題を知る。	背面黒板
	6月13日(水)	【司会団との打ち合わせNo.1】 ・話し合いの流れについて	よつばタイム
	6月15日(金)	【司会団との打ち合わせNo.2】 ・司会者への支援 (話し合わせ方・意見 集約等) ・黒板書記への支援 (意見の表記の仕方・色チョークの使い方等)	よつばタイム
本時	6月18日(月)	【話し合い活動】 ・たてわり班活動での悩みについて話し合う ・たてわり班のリーダーとして、なりたい自分を考える	※本時指導案参照 学活の時間
事後	6月19日(火)	【集会活動】 ・たてわり班活動 (キーワードゲーム・昼食・遊び)	児童会2時間
	6月20日(水)	【ふり返り】 ・実践のふり返りカードの記入	よつばタイム
	6月～ 9月 (前期)	【実践活動】 ・たてわり班での清掃など  【ふり返り】 ・実践のふり返りカード	清掃の時間  よつばタイム

5 本時の指導計画

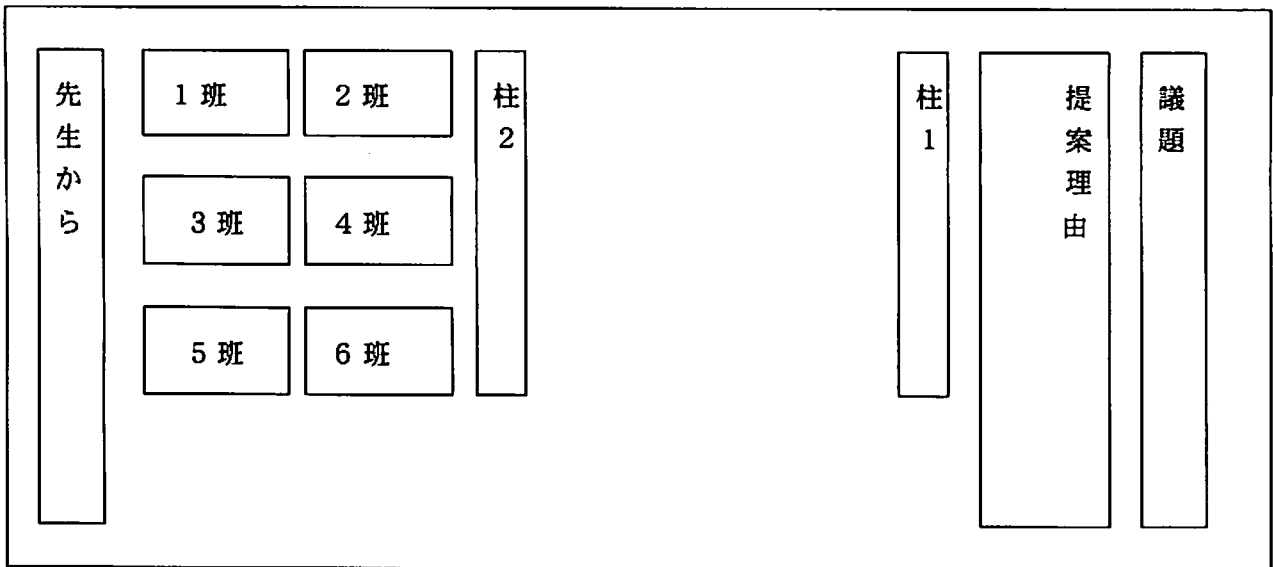
(1) 本時のねらい

たてわり班活動を成功するために、リーダーとしてめあてをもち自分なりの具体策を考  
えることができる。

(2) 指導過程

話し合いの流れと予想される児童の意見等	指導上の留意点と支援・評価(◆)
<p>【司会】佐藤 彩葉 【副司会・ノート書記】新関 和貴 【黒板書記】渡辺 梨乃 武田 裕</p> <p>1 はじめの言葉 2 議題の確認と提案理由の説明</p>	<p>・話し合い活動に先立ち、教師からの提案理由を述べ、願いを児童に伝えたい。</p>
<p>いよいよ明日は2時間続きのたてわり班活動があります。たてわり班活動が始まって一ヶ月が過ぎようとしています。日食の観察会や清掃などの活動をする中で、「とっても上手くいっている。」「ぜんぜん楽しくない。」「言うことをきいてくれない。」などみなさんの感想はさまざまでした。そこで、明日のたてわり班活動に向けて、楽しみにしていることや悩みについて話し合い、一人一人が明日の活動でリーダーとしてのめあてをもって活動してほしいと思って提案します。</p>	
<p>3 めあての発表と話し合いの見通し</p> <p>今日のめあては「たてわり班活動を成功させよう」です。楽しみにしていることや悩んでいることについて、みんなから意見や考えをだしてもらい明日の活動に生かしてもらいたいと思います。次に、「たてわり班活動が成功する」ということはどういうことなのかについて話し合います。話し合いの仕方として、最初に、班で話し合い、その後、みんなで考えを交流します。</p>	
<p>4 話し合い</p> <p>【はしら1】</p> <p>まず、グループ(6班)で明日のたてわり班活動で楽しみにしていることや悩んでいることについて話し合います。</p> <p>【はしら2】</p> <p>明日の「たてわり班活動が成功する」ということは、どういうことかを話し合ってください。</p>	<p>・少人数で話し合うことで、自分の悩みなどが出しやすい雰囲気にする。</p> <p>・悩みに寄り添いながら、話し合うことでリーダーとして必要な力について気づかせていきたい</p> <p>・ふり返りカードを準備し、今回の話し合いを受けて、明日の自分のめあてを考えるようにする。</p>
<p>5 ふり返り</p> <p>6 先生の話</p> <p>7 終わりの言葉</p>	<p>・話し合い活動で具体的によかったところを掲示する。(可視化する。)</p> <p>◆自分自身をふり返り、リーダーとしてのめあてをもち具体策を考えることができたか。</p>

(3) 板書計画



◆ふり返りカード

明日のたてわり班活動のリーダー（6年生）としての自分のめあてを班のメンバーを思いながら書いてみよう。 名前（ ）

いつ	だれに	自分がどのようにかかわるか
例 移動する時に	ことねちゃんと	はぐれないように手をつないであげる

■ たてわり班活動についてのアンケート（6 / 1 実施）

質 問	主 な 回 答
<p>1 楽しいこと・うれしいことはどんなことですか？</p>	<p>【協力してくれること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力してそうじができること 9</li> <li>・自分から進んでやってくれる人がいる。4</li> <li>・1年生が「次はどこをそうじすればいいですか？」とか「ごみを集めました。」とか言ってくれる。</li> <li>・低学年の人が話を聞いてくれたとき</li> <li>・反省会の時「今日がんばってそうじした」という人がいてうれしい</li> <li>・自分の分担が終わったら、手伝ってくれたこと</li> <li>・みんなおもしろいし、やる時はみんなそうじしてくれる</li> </ul> <p>【頼りにしてくれること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頼ってくれること 2</li> <li>・3年生が言うことを聞いてくれる</li> <li>・自分が教えたことをちゃんとしてくれてうれしい</li> <li>・私の言ったことをすぐ聞いてくれてうれしい 2</li> <li>・1年生にやり方を教えて一緒にやっているのが楽しい</li> </ul> <p>【話をして仲良くなったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々と私に話しかけてくれてうれしい 2</li> <li>・会ってすぐにみんなと話ができるのがうれしい</li> <li>・そうじで他の学年の人とも仲良く話せるし、そうじもおもしろくなってくる。</li> <li>・友だちになって、楽しく遊ぶとうれしくなる。</li> <li>・友だちが増えたこと</li> <li>・みんなから声をかけてもらえる</li> <li>・みんなとおしゃべりしている時</li> <li>・今まで話したことのない人と話ができなこと</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そうじした場所がきれいになること（りゅうのすけ）</li> <li>・ない 1</li> </ul>

2 困っていること・悩んでいることはどんなことですか？

【そうじをしないでふざけている・遊んでいる】

- ・ 2年生が遊んでいること
- ・ ふざけている人がいる
- ・ そうじをしないで遊んでいる人がいる 2
- ・ 遊んでいる人がいる。さぼっている人がいる。2
- ・ シャベっている人がいてなかなか進まなくて時間が過ぎてしまう。 2
- ・ 3, 4年生が1年生を連れて、ほうきやぞうきんで遊びだす。
- ・ 1年生がほうきなどで遊んでいる。
- ・ 一部の人がずっとシャベっていること注意してもやめないことがある
- ・ ふざけている人もいるし、何もしない人がいて困っている。
- ・ そうじが終わって時間が余ったときに、走ったり遊んだりしている。

【言うことをきいてくれない】

- ・ 年下（2年生）が6年生に向かって生意気な口をきいてくる
- ・ 2年生の男子がすごく口が悪くて、私にも年上の人にも悪口とか傷つくことを言うのでやめてほしい。あとすぐ暴力をするので何か見ていてほしい。反省会の時、真面目に聞いて、反省してもらいたい。そうじをしっかりとしてほしい。私が言ったことをみんなすぐ聞いてほしい。
- ・ 「ぞうきんをやって。」と言うと「えー。」と言われる  
しっかりそうじもしない
- ・ いちいち文句をつけてくる。言うことをきいてくれない

【その他】

- ・ ない 4
- ・ 班長の分担の仕方が公平でない（りょうや）
- ・ 時計がなく、いちいち教室に行ってみて、そうじが進まない
- ・ 今度、たてわり班で遊ぶ時、最後の最後までまとめられるか。



3 あこがるリーダーの  
イメージは？

【みんなをまとめる】

- ・みんなに頼りにされて優しいリーダー
- ・班をまとめて、口ばかりじゃない
- ・みんなをまとめてあこがれるようなリーダー 3
- ・みんなをまとめていくリーダー

【しっかりしている お手本になる】

- ・しっかりしていて一緒にいると楽しい人・いいことはいいとしっかり言える人。
- ・1～5年生のお手本 みんなをまとめられる

【信頼させる】

- ・口だけではなく自分のことは自分でできてみんなから信頼されるリーダー
- ・みんなに頼られて「カッコイイ」（そうじができる）
- ・信頼されるリーダー
- ・優しくて班の人から信頼されてみんなをまとめられる
- ・みんなに頼りにされて優しいリーダー
- ・みんなをまとめられる、どんな仕事でも進んでやる頼もしいリーダー 2
- ・信頼される、何の質問でも答えられる（そうじ）

【みんなをひっぱていける】

- ・みんなをひっぱていける人
- ・だれの意見でもきちんと聞き、優しい人 みんなをひっぱていける人

【優しい】

- ・大変なことがあったら、手助けできるリーダー
- ・みんなに頼りにされて優しいリーダー
- ・だれの意見でもきちんと聞き、優しい人 みんなをひっぱていける人
- ・だれにもきびしく、おこらずやさしく教えてくれる  
優しくて時にきびしいしっかりとしたリーダーになりたいです。

【公平】

- ・だれの意見でもきちんと聞き、優しい人 みんなをひっぱていける人
- ・公平な分担をしてくれる班長

【その他】

- ・長岡小のてっぺん 一番上
- ・すごい
- ・みんなの前に立ってリーダーの役割をはたせる